

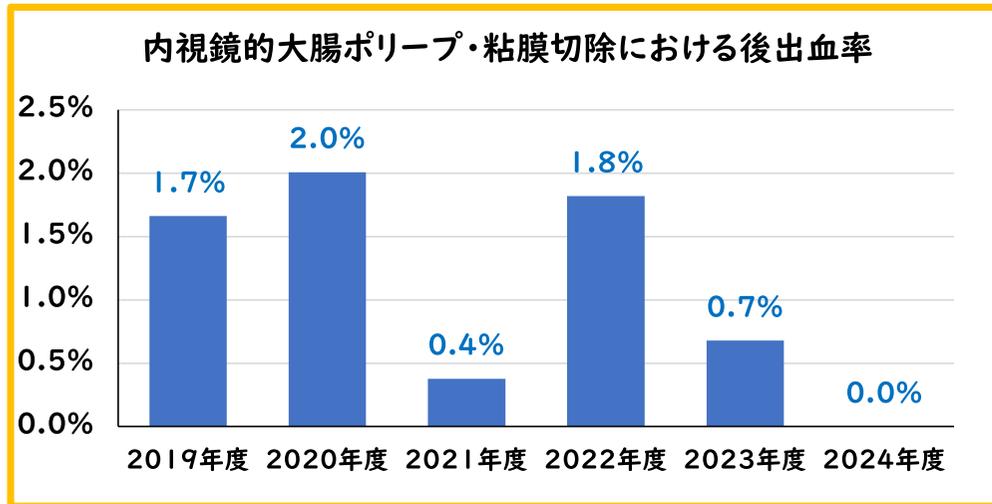
## 5 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除における後出血率

消化器内科

### ◆解説◆

内視鏡で大腸のポリープを切除した後に出血が起こることがあります。この指標は、治療後にどれくらいの患者さんが出血を起こしたかを示すものです。後出血が少ないほど、安全に治療が行われていることを表します。

### ◆当院の実績◆



### ◆自己点検評価◆

「消化器内視鏡関連の偶発症に関する第6回全国調査」ではポリープを切除した場合の合併症としての後出血の頻度はポリペクトミー 1.6%、EMR 1.1~1.7% ではありますが、当院では2024年度、後出血をきたし、輸血や緊急手術、再検査を実施した症例はなく、良好な成績であったと考えます。

### ◆定義◆

内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 (EMR) 件数のうち

①輸血を要した症例数+②EMR後緊急手術件数+③EMR後に止血のため再度大腸カメラを行った件数の割合